

勘定科目リストの確認ポイント

金融庁 総務企画局 企業開示課

1. 勘定科目リストの構造

勘定科目リストとは、各業種別タクソノミにおいて用意されている勘定科目の一覧で、会計規則等の設定根拠を有する科目(A群)と広く一般的に使用されている科目(B群)によって構成されております。勘定科目リストの構造は、以下のとおりです。なお、勘定科目リストの各項目及びその説明については、「3. 勘定科目リストの記載項目」をご確認ください。

・ 財務諸表の種別について

勘定科目リストは、個別、連結、中間個別、中間連結の全ての財務諸表の科目が設定されています。

・ 表示順序、表示階層について

勘定科目リストは、開示書類にて実際に表示される勘定科目の順序・階層を表したのではなく、勘定科目がどの区分に属するかの関係を表しています。(開示書類における表示順序・階層は別途タクソノミにて設定することになります。)

・ 業種別勘定科目リストの記載科目について

業種別勘定科目リストには、各業種特有の科目を中心に設定しております。よって、当該業種において使用可能な全ての科目が掲記されているものではありません。全業種が共通的に使用するような科目については、一般商工業リストにて設定しておりますのでそちらに科目が記載されていることをご確認ください。なお、キャッシュ・フロー計算書については、一般商工業リストを中心として設定したものととなっておりますので、そちらと合わせてご確認ください。

貸借対照表(建設業)	科目分類	業種	標準ラベル(英語)	冗長ラベル
-	貸借対照表		balance sheets	貸借対照表、タイトル項目
A	資産		assets	資産の部、タイトル項目
A	流動資産		current assets	流動資産、タイトル項目
A	現金及び預金	現金預金	Cash and deposits	現金及び預金
B	受取手形・完成工事未収入金等		Notes receivable, accounts receivable from completed construction contracts	受取手形・完成工事未収入金等、建設業
A	受取手形		Notes receivable - trade	受取手形
A	完成工事未収入金		Accounts receivable from completed construction contracts	完成工事未収入金、建設業
A	有価証券		Marketable securities	有価証券
A	未完成工事支出金		Costs on uncompleted construction contracts	未完成工事支出金、建設業
A	材料貯蔵品		Raw materials and supplies	材料貯蔵品、建設業
A	短期貸付金		Short - term loans	短期貸付金
A	前払費用		Prepaid expenses	前払費用
A	繰延税金資産		Deferred tax assets	繰延税金資産、流動資産
A	その他		Other	その他、流動資産
A	貸倒引当金		Allowance for doubtful accounts	貸倒引当金、流動資産
A	流動資産	流動資産合計[合計]	Current assets	流動資産
B	たな卸不動産		Real estate for sale and development projects in progress	たな卸不動産、建設業
B	販売用不動産		Real estate for sale	販売用不動産、建設業
B	未完成工事支出金等		Costs on uncompleted construction contracts and other	未完成工事支出金等、建設業
A	固定資産			固定資産、タイトル項目
A	有形固定資産			有形固定資産、タイトル項目
A	建物・構築物	建物・構築物	Buildings and structures	建物及び構築物
A	減価償却累計額		Accumulated depreciation	減価償却累計額、建物及び構築物
A	建物・構築物	建物・構築物	Buildings and structures, net	建物及び構築物(純額)

2. 勘定科目リストの記載項目

勘定科目リストにある各項目及びその説明は、以下の通りとなります。

No	項目名	説明
1	科目分類	EDINETタクソノミに設定されている勘定科目の分類情報が「科目分類」列に記載されています。 「A」：その科目がA群勘定科目（会計規則等の設定根拠を有する科目）であることを示します。 「B」：その科目がB群勘定科目（広く一般的に使用されている科目）であることを示します
2	標準ラベル （日本語）	EDINETタクソノミに設定されている勘定科目の標準的な日本語表示名が「標準ラベル（日本語）」列に設定されています。 特段の設定を行わなければ、この科目表示名がEDINETにおいて表示されることとなります。
3	業種ラベル	一般商工業の科目と同一の意味であるが、業法等に定めのある科目名称がそれと異なる科目が「業種ラベル」列に設定されています。「業種別ラベル」列に科目名が設定されている場合、この科目名が表示されることとなります。 （例）一般商工業リストにおける科目名・・・「現金及び預金」 各業種における科目名・・・・・・・・「現金預金」 など
4	用途別ラベル	EDINETタクソノミにおいては、用途に応じて表示名が変更する科目名が設定されています。この「用途別ラベル」列に科目の記載がある場合、設定されているいずれかの科目を用途に応じて科目名を変更し表示することが可能です。 「合計ラベル」・・・合計値を表す科目名 「期首ラベル」・・・期首時点を表す科目名 「期末ラベル」・・・期末時点を表す科目名 「負値ラベル」・・・負を表す科目名 「期首負値ラベル」・・・期首時点で負を表す科目名 「期末負値ラベル」・・・期末時点で負を表す科目名 「正值負値ラベル」・・・複数期で正負が混在する科目名 「期首正值負値ラベル」・・・複数期首で正負が混在する科目名 「期末正值負値ラベル」・・・複数期末で正負が混在する科目名
5	標準ラベル （英語）	EDINETタクソノミに設定されている勘定科目の標準的な英語表示名が「標準ラベル（英語）」列に設定されています。
6	冗長ラベル	EDINETタクソノミに設定されている全ての勘定科目に冗長的なラベルが設定されています。「冗長ラベル」とは、EDINETタクソノミの科目において一意に設定されており、各科目がどの区分に属するものであるかを識別する参考情報である。

3. 勘定科目リスト確認の際の留意事項

3.1 財務諸表の種別について

勘定科目リストには、個別財務諸表、連結財務諸表、中間財務諸表、中間連結財務諸表の全ての財務諸表の勘定科目が設定されています。

3.2 勘定科目リストの表示順序、階層構造について

勘定科目リストは、開示書類にて実際に表示される勘定科目の順序・階層を表したのではなく、勘定科目がどの区分に属するかの関係を表しています。（開示書類における表示順序・階層は別途タクソノミにて設定することになります。）

3.3 業種別勘定科目リストに記載のある科目について

業種別勘定科目リストは、各業種特有の科目を中心に設定しております。よって、当該業種において使用可能な全ての科目が掲記されているものではありません。全業種が共通的に使用するような科目については、一般商工業リストにて設定しておりますのでそちらに科目が記載されていることをご確認ください。なお、キャッシュ・フロー計算書については、一般商工業リストを中心として設定したものととなっておりますので、そちらと合わせてご確認ください。

（キャッシュ・フロー計算書では、業種特有の科目が一般商工業用リストのどの区分に属する科目であることを示している。）

（例）建設業勘定科目リスト・・・キャッシュ・フロー計算書

小計

未成工事受入金の増減額（は減少）

未成工事支出金の増減額（は増加）

未成工事支出金の増減額（は増加）

これらの増減額が「小計」の区分に属することを示しています。

3.4 期首又は期末を表す勘定科目リストの取扱いについて

期首を表す勘定科目と期末を表す勘定科目は、基となる要素に対して、名称リンクを設定することで表示を可能としています。

例えば「現金及び現金同等物の期首残高」や「現金及び現金同等物の期末残高」は、「現金及び現金同等物の残高」という標準ラベルを持つ要素に対して、「期首ラベル」と「期末ラベル」を利用することで、期首又は期末を表す勘定科目を表示されることとなります。設定されている期首又は期末を表す勘定科目については「用途別ラベル」列をご確認ください。

ただし、損益計算書における「商品期首たな卸高」「商品期末たな卸高」等については、上記の「期首/期末ラベル」を利用せず、標準ラベルにおいて当該科目名を設定しています。

3.5 集計を表す勘定科目の取扱いについて

集計を表す勘定科目についても期首・期末と同様に、基となる要素に対して、名称リンクを設定することで表示を可能としています。

例えば、「資本剰余金合計」は、「資本剰余金」という標準ラベルを持つ要素に対して、「合計ラベル」を利用することで、集計を表す勘定科目を表示されることとなります。

設定されている集計を表す勘定科目については、「用途別ラベル」列をご確認ください。

3.6 金額の正負によって名称が変わる勘定科目の取扱いについて

金額の正負によって名称が変わる勘定科目についても、期首・期末と同様に、基となる要素に対して、名称リンクを設定することで表示を可能としています。

例えば、「当期純損失」は、「当期純利益」という標準ラベルを持つ要素に対して、「負値ラベル」を利用することで、負を表す勘定科目を表示している。

また、複数の期において正値と負値が混在する状況への対応として、「正値負値ラベル」を利用し「当期純利益（又は当期純損失）」という勘定科目を表示可能としています。

設定されている金額の正負によって名称が変わる勘定科目については、「用途別ラベル」列をご確認ください。

3.7 業種別財務諸表において一般商工業と名称が異なる勘定科目の取扱いについて

業法等に基づいて作成された業種別財務諸表においては、財務諸表等規則等に基づいて作成された一般商工業の財務諸表に対して、意味が同じであっても科目名称が異なる勘定科目があります。

（例） 財務諸表等規則（一般商工業）・・・「機械及び装置」
造船業財務諸表準則（造船業）・・・「機械装置」

勘定科目リスト中の「標準ラベル」列においては、財務諸表等規則に定めのある科目名称が表示されている。意味が同じであるが科目名称が異なる勘定科目については、「業種ラベル」列をご確認ください。